

「会話と手紙」に見るハワイ日本語の多様性

「上品な日本語」が表すもの

朝日祥之（言語変異研究領域）

1. ハワイの日本語教育

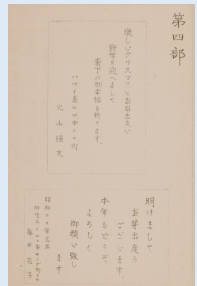
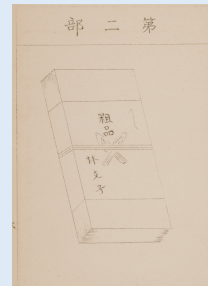
- 日本語学校の創設 = 日本語学習機会
= 継承語としての日本語教育
- 日本語教材の作成 = 国定教科書にはじまる
= 布哇教育会によるもの
= 日本語学校によるもの

オアフ島



2. 「会話と手紙」(右資料参照)

- エワ日本語学校編集 ・ 刊行年等は不明
- 会話とお手紙の練習
 - 第1部 会話と挨拶とお手紙
 - 第2部 具体例
 - 第3部 手紙と上書の書き方
 - 第4部 具体例



3. ハワイの日本語と敬語(比嘉 1974:29-30)

「ハワイへ移民した日本人の約半数が中国地方出身者でありました。しかも中国地方出身者が先着者であったため、当然のように中国方言がハワイの日系社会の共通語となってしまったようです。ハワイでは、中国方言よりも「広島・山口弁」という呼び名の方が実感が出ます。(中略)ハワイ社会の一員として広島・山口弁を共通語として話すようになりました。(中略) **ハワイの日本語について、敬語や丁寧語、それから女性語が目立って欠けている**ことが一般的に言われている。

4. 「上品なことば」と「下品なことば」

下品なことば	上品なことば
お母さん、僕に二十仙やらんならど	お母さん、僕お金がいます。すみませんが、二十仙下さい。
おい、ナイフを貸せ	君、一寸ナイフを貸してくれ給え。
僕、読めんです。昨夜ミーテンがあっただけー	ごめんなさい。僕、読めません。昨夜、集会がありましたので、すみません。
お父さんこれを持っとんない	お父さん、一寸これを持っていてください。お願いします。

※これは男子の言葉です。女子はもっと丁寧におっしゃい。男子はすぐお話しなさい。女子はもっと丁寧な言葉に書きかえてください。(p.29)

※「ど」皆さんがよくお使いになります。悪い言葉ではございませんが、もっと軽く発音しなさい。「ど」が強いと下品に聞こえます (p.12)

【参考文献】

比嘉正範 (1974a) 「ハワイの日本語の社会言語学的研究」 『学術月報』 26-11, pp. 29-35.